

令和7年自転車指導啓発重点地区・路線

1 署別選定数

	青森	八戸	弘前	五所川原	黒石	十和田	三沢	むつ	合計
地区	2	3	1	1					7
路線	1	1	2		1	2	1	1	9

2 選定状況

警察署	地区・路線	地区又は路線の名称	路線区間	延長距離(m) <概数>	選定理由
青森	路線	国道4号	消防本部前交差点～国道合浦公園入口交差点	3,700	通勤・通学などによる自転車の通行量が多く、車両のほか自転車利用者、歩行者のいずれも多く、交通事故発生が懸念される。
〃	地区	青森市東大野・青葉周辺地区	～		大型商業施設、生活関連施設が集中する地区であるが、高校も複数あり、自転車の通行量も非常に多い。自転車事故も多い。
〃	地区	青森市奥野・筒井周辺地区	～		学校が複数あり、通勤・通学などによる車両、自転車、歩行者の通行量が多い上、交通事故も多い。
八戸	地区	八戸市沼館・城下地区	～		生活関連道路であるため、車両の交通量が多く、自転車事故が多発している。
〃	地区	八戸市湊高台・湊町地区	～		道路幅員が狭い地区であるが、自転車通学の中高校生が多く通行し、自転車事故が多発している。
〃	地区	八戸市江陽周辺地区	～		自転車を多く利用する外国人が多く、令和5年に自転車による死亡事故が発生している。
〃	路線	国道45号	類家一丁目交差点～類家五丁目交差点 交差点	1,000	交通量が多く、付近に商業施設、学校が多いことから、自転車事故が多発している。
弘前	路線	県道石川土手町線	弘前市大字富田三丁目7～弘前市大字松原西一丁目2-1	2,000	中高生、大学生の通学路であり、朝夕の自転車の通行量が市内で最も多い路線である。付近住民からの悪質・危険自転車の取締り要望がある。
〃	路線	県道石川百田線	弘前市土手町131～弘前市富田町8-3	1,200	弘前駅周辺の交通量の多い路線であり、高校生や、社会人の自転車の通行量が多い。また、付近住民からの悪質・危険自転車の取締り要望がある。
〃	地区	弘前市南大町一丁目及び弘前東高校前駅周辺地区	～		弘南鉄道の弘前東高校駅があり、高校・中学校の通学路でもあり、自転車の通行量が多い。
五所川原	地区	エルムの街の周辺地区	～		車両の交通量が多く、エルムの街を利用する自転車利用者も多いことから、交通事故の発生が懸念される。
黒石	路線	主要地方道大鰐浪岡線	緑ヶ丘交差点～篠村交差点	4,000	生活関連経路であり、高齢歩行者も多く、その安全を確保する必要がある。
十和田	路線	市道（官庁街通り・大学通り）	JA十和田おいらせ本店～北里大学	3,400	自転車利用者が多く、自転車事故が発生している。十和田市の中心地を東西に走る路線であり、車両及び歩行者の往来も多いため、交通事故の発生が懸念される。
〃	路線	主要地方道三沢十和田線	元町東交差点～北里大学北側交差点	1,500	学校が複数あり、自転車事故も発生しているため、安全を確保する必要がある。
三沢	路線	市道（通称五中通り）	ココス三沢南町店前交差点～青い森鉄道三沢駅	1,500	自転車通学の中高生が多く、悪質・危険な自転車の取締り要望があるほか、商業施設の多い区間もあり、交通事故の発生が懸念される。
むつ	路線	県道海老川新町線	JR下北駅～田名部高校南東側交差点	1,700	朝夕の時間帯、学生及び高齢者の自転車利用者の通行量が多く、交通事故の発生が懸念されるため。